

[002] 九州大学農学部農場年報 : 第2号

<https://doi.org/10.15017/13212>

出版情報 : 九州大学農学部農場年報. 2, 1999-03. 九州大学農学部附属農場
バージョン :
権利関係 :



I. 概要

1. 沿革および特色

当農場は農学部附属し、農学に関する教育と研究を行う施設として1921年4月、勅令120号により28ha余りを整備して設置された。1949年に約4haを農林省へ所管換えし、1965年に粕屋地方演習林（篠栗町津波黒）の一部に果樹園（5ha）と放牧場（14ha）を造成した。原町農場では、1966年に1,717m²の大型ハウスが完成し、1968年には耕地の基盤整備を実施した。1981年に大分県直入郡久住町に高原農業実験実習場の設置が認可され、約17haの用地を購入して動物生産部門を発足させた。さらに、1984年に原町農場に研究実習棟の落成をみた。主な出来事は年譜に示した通りである。

本場における農場実習は、学科毎にカリキュラムを組み、機能の異なる3農場で、教官、技官および事務官一体となって実施されている。研究は各部門において基礎から先端分野まで幅広く行われており、大学院生、外国人留学生も成果をあげている。また、イネ、マメ、果樹および花卉の遺伝資源収集、JICAやIPSAをはじめとする国際協力、地域農業への取り組み、農業者や市民を対象にした公開講座の開催等に力を注いでいる。

原町および篠栗農場年譜

- 1921. 4 勅令120号により農学部附属農場設置.
- 1921.12 農場本館および酪農舎完成.
- 1946. 6 農場運営規定制定.
- 1949.12 農場用地約4haを農林省へ所管換え.
- 1965. 3 篠栗果樹園および牧場の計画・造成開始.
- 1966. 3 大型ファイロンハウス（500坪）竣工.
- 1973. 2 馬術部の馬場造成.
- 1976. 4 酪農研究室と肉畜研究室を廃止し、畜産研究室に統合.
- 1979. 6 作物、園芸、畜産の3部門制へ移行.
- 1984. 7 研究実習棟落成.
- 1994. 4 機械警備導入により本館の宿日直廃止。ダイヤルイン導入.
- 1996.10 農場創設75周年記念式典.

高原農業実験実習場年譜

- 1979. 用地16.8haの購入と関連施設の建設許可.
- 1983. 3 本館・牛舎新築落成.
- 1983. 8 作業収納舎、飼料調製室および堆肥舎新築.
- 11 スチールサイロ建設.
- 1986. 3 育成牛の放牧開始.
- 1990. 1 分娩牛舎監視カメラ、牛保定枠およびパドック新設.
- 1991. 3 気象記録装置設置.
- 1992. 9 国土地理院地籍実測調査.
- 1994.12 分娩牛舎監視カメラシステム完成.

2. 所在地

原町農場

811-2307 福岡県粕屋郡粕屋町大字原町 111

電話代表 092-612-2862

Fax 092-612-2872

ダイヤルイン 092-612- 内線番号

篠栗農場

811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町大字津波黒 348

電話 092-947-0182

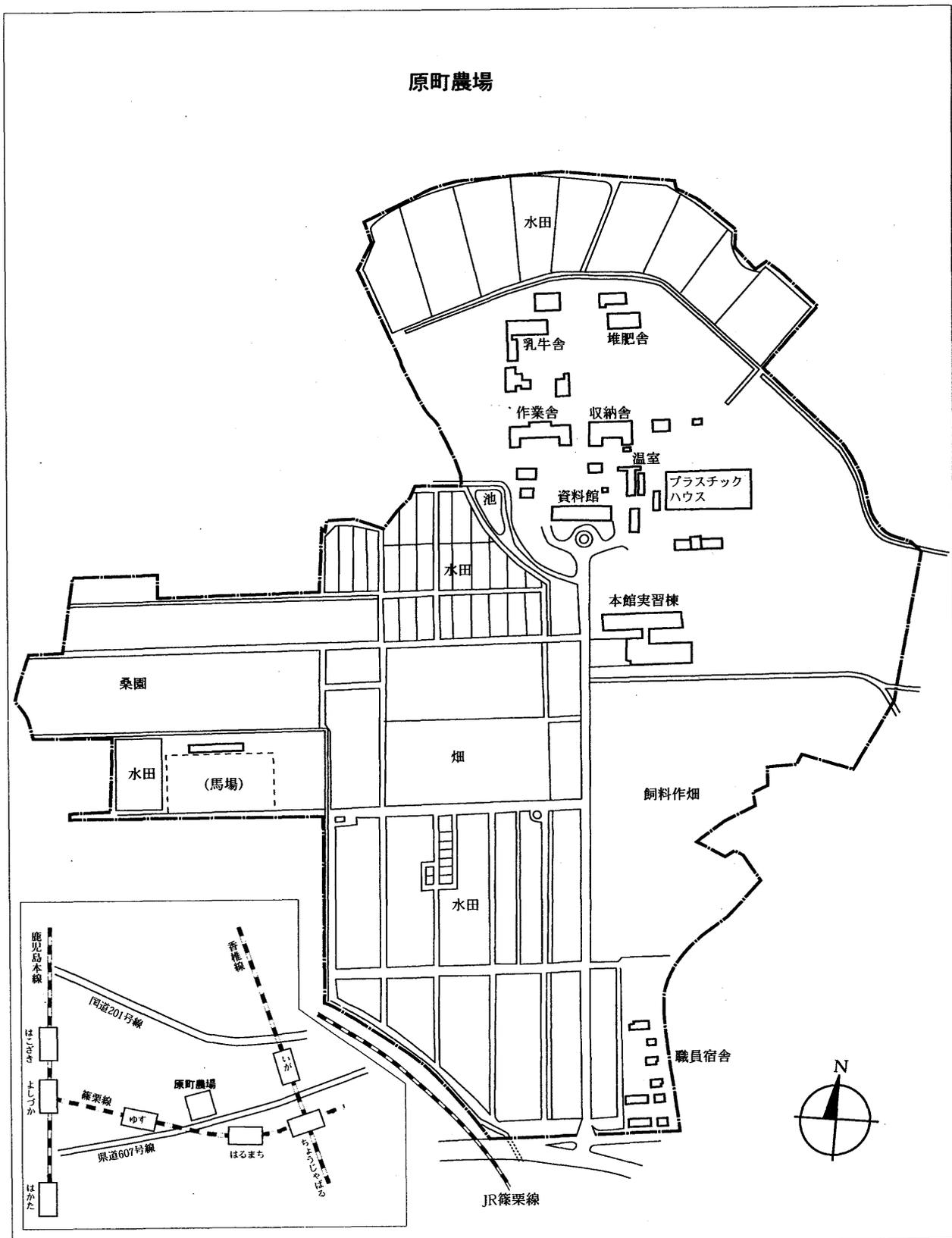
高原農業実験実習場

878-0201 大分県直入郡久住町大字久住字鶴ヶ笹 4045-4

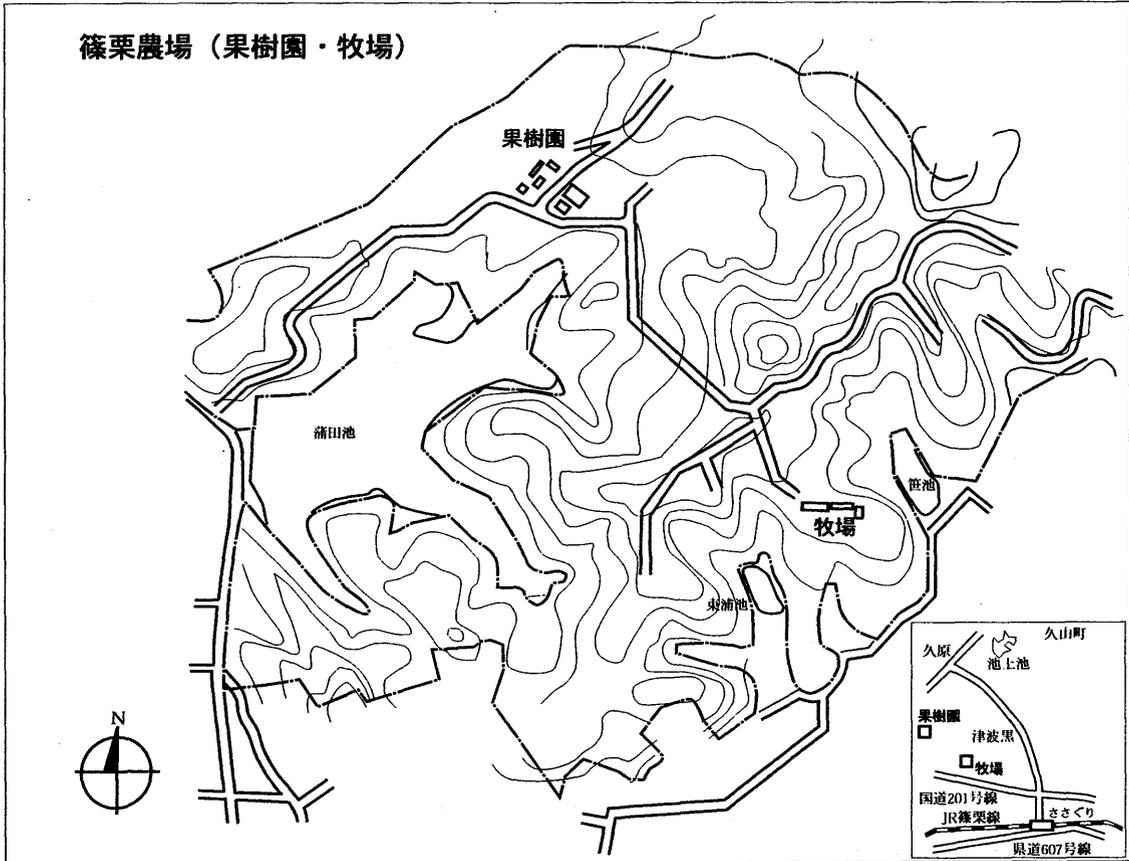
電話代表 0974-76-1377

Fax 0974-76-1218

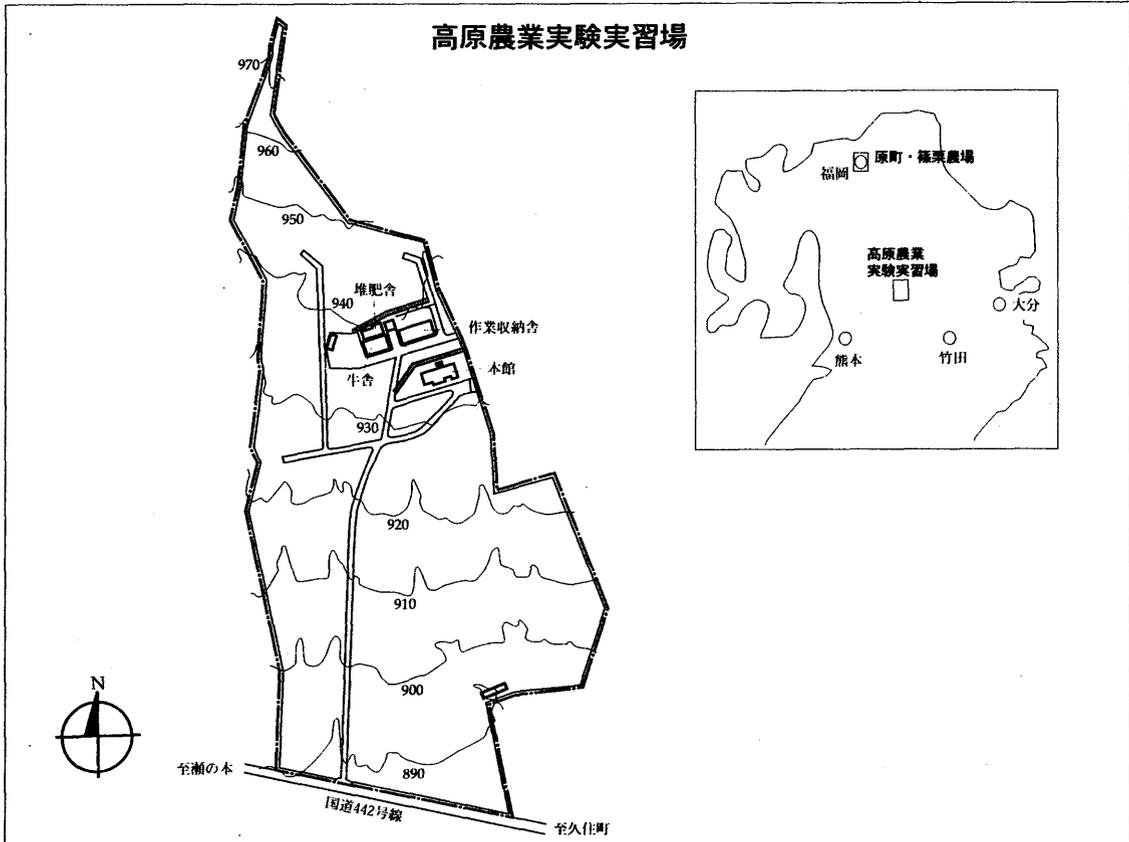
農場略図および位置



篠栗農場（果樹園・牧場）

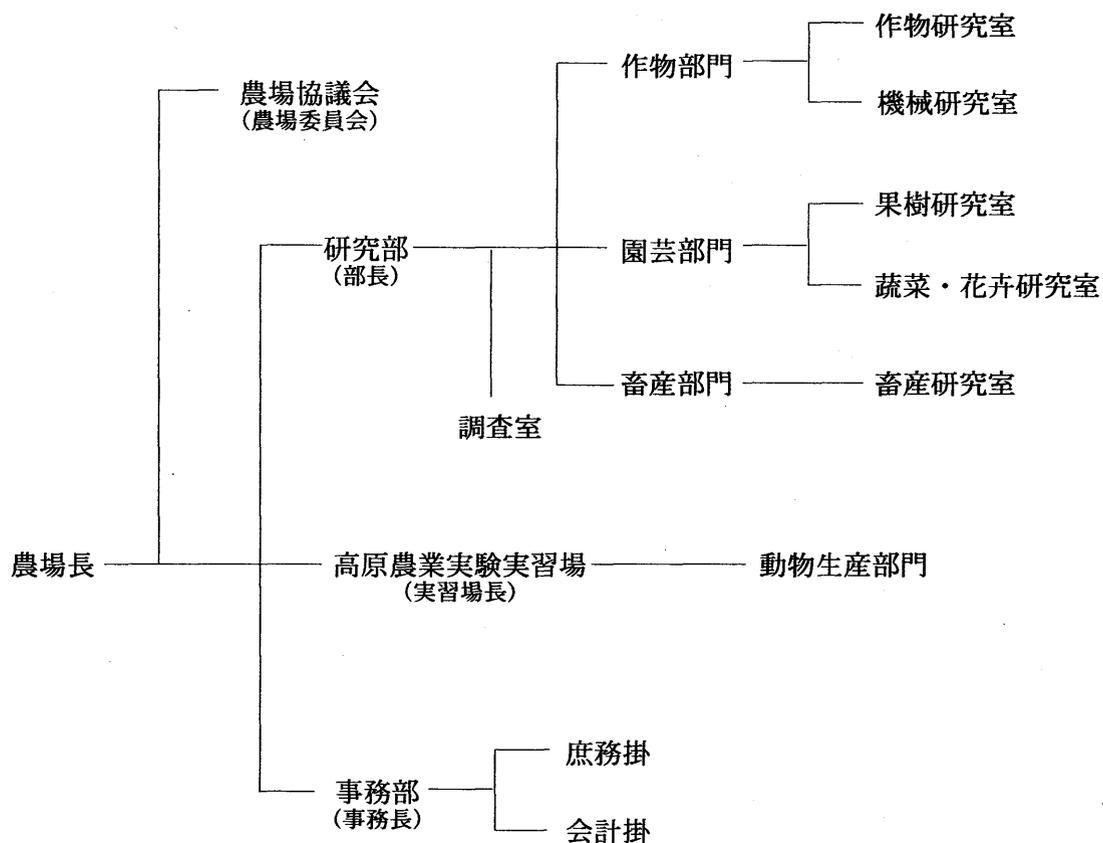


高原農業実験実習場



3. 組織 機構

農場組織図



職員配置、数

区分	教授	助教授	助手	事務官	技官	非常勤
農場長	(1)*					
高原農業実験実習場長	(1)					
研究部長	1					
調査室	1**					1
作物部門		1	1		4	1
園芸部門		1	1		5***	4
畜産部門		1	1		4	
動物生産部門 (高原)		1	1		1	1
事務部				6		2
計	2(2)	4	4	6	14	9

*：括弧内は併任。

**：学生定員の臨時増に伴う（1998年3月まで）。

***：1997年4月より1名減。

委員会

農場協議会

構成：1)農場長

2)研究部長、高原農業実験実習場長、部門主任、研究室長および事務長。

3)農学部教授および助教授から農学、農業工学、畜産学および農政経済学の各学科
関係それぞれ1名、その他3名以内。

高原農業実験実習場運営委員会

構成：高原農業実験実習場長、農場長、農学部委員

農場委員会 毎月

構成：農場長、農場教官、事務長。

班長会 毎月

構成：研究部長、各研究室班長。

美化委員会 毎月

構成：各研究室より1名。

職員名簿（1999年3月現在）

農場長（併）	教授	藤原 昇
高原農業実験実習場長（併）	教授	増田 泰久
（研究部）		
研究部長（兼）	教授	藤原 昇
研究部長事務代理（兼）	助教授	中司 敬
調査室長（兼）	助教授	中司 敬
	非常勤	堀 恵子
作物部門主任	助教授	中司 敬
作物・機械研究室長	助手	望月 俊宏
” 技術専門職員・第一技術班長	技官	中川 幸夫
” 技術専門職員	”	鳥飼 芳秀
” 技術員	”	梶原 良徳
” 技術員	”	田中さゆり
	非常勤	篠崎久美香
園芸部門主任	助教授	若菜 章
果樹研究室長（併）	”	”
” 技術専門職員・技術長	”	花田 信章
” 技術専門職員	”	福留 巧
	非常勤	梶原美恵子
	”	城戸ハツ子
	”	阿部 タキ
蔬菜・花卉研究室長	助手	比良松道一
” 技術専門職員・第二技術班長	技官	竹下 繁

蔬菜・花卉技術員	技 官	久保 廣安
	非常勤	伴 千代子
畜産部門主任	助教授	岡野 香
畜産研究室長	助 手	中野 豊
" 技術専門職員・班長	技 官	古澤 弘敏
" 技術員	"	安河内幸一
" 技術員	"	松石 貴裕
" 技術員	"	泉 清隆
動物生産部門主任	助教授	尾野 善孝
"	助 手	西村 光博
" 技術員	技 官	衛籐 哲次
" 技能補佐員	非常勤	内田 哲郎
(事務部)		
事務長	事務官	前田 義信
会計掛長	"	井上 憲司
会計主任	"	児嶋 義則
物品調達主任	"	松田 洋
会計掛員	"	黒瀬 正秋
庶務掛長	"	山本 敏彦
	非常勤	川田 美穂
	非常勤	松田 弘子

4. 土地および建物

原町農場は総面積2,346a、篠栗農場1,932aおよび高原農業実験実習場1,684aで、下記のように利用されている。

区分	面積(a)		
	原町	篠栗	高原
耕地・水田	584		
耕地・畑	751		
果樹園	30	834	
桑園	134		
牧場・採草地		500	1,270
建物敷地	328		280
その他	519	598	134
計	2,346	1,932	1,684

建物および施設約 30 棟を有し、合計面積は 8,500m² である。

	建物名称	構造	延面積(m ²)	竣工年
原町農場	研究実習棟	R	1,465	1984
	作業室	B	557	1968
	収納舎	W	466	1921
	乳牛舎	W	314	1923
	畜産加工室	W	147	1932
	温室 (4 棟)	S	462	—
	プラスチックハウス	S	1,717	1966
	機械格納庫	S	200	1971
篠栗農場	果樹集荷選果場	S	510	1972
	温室	S	100	1979
	牛舎	S	261	1979
高原実習場	本館	R	900	1983
	牛舎	S	426	1983

注) W : 木造、S : 鉄骨、R : 鉄筋、B : ブロック。

5. 主要設備、備品

主要な設備、備品は下記の通りである。

品名	台数	品名	台数
トラクタ	13 台	高速液体クロマトグラフ	1 台
田植機	5 台	ガスクロマトグラフ	1 台
コンバイン	4 台	原子吸光分光光度計	1 台
穀物乾燥調製施設	1 式	炎光光度計	1 台
ホイールローダ	1 台	二波長クロマトスキャナ	1 台
ダンプ式トレーラ	1 台	蛍光顕微鏡	1 台
ブルドーザ	1 台	マルチオートカウンタ	1 台
バックホー	2 台	高速冷却遠心機	1 台
バークリーナ	1 台	クリンベンチ	1 台
蒸気土壤消毒機	1 台	生物顕微鏡	4 台
スチールサイロ	1 基	振とう培養インキュベータ	1 台
FRPサイロ	4 基	エンジン性能測定システム	1 式
スピードスプレヤー	1 台	マイクロロボット	1 台
ロールベアラ	1 台	画像情報処理装置	1 式
食肉加工機器	1 式	ビデオ編集システム	1 式
携帯型光合成測定装置	1 式	温度勾配恒温機	1 式